

DG Flugzeugbau GmbH



To Pee Or Not To Pee - No Question About It

すべきか、せざるべきか？ 疑問の余地はありません

Karl and Iris Striedieck, USA

Billy Hill が 5 時間半のレースの後、彼の **Zuni**（訳注：米国製の 15m クラス機、当時 **ASW-20** などと対抗して造られた）を勝利のプルアップに入れて、1977 年にテキサス州ホップスで開かれた 15m クラスの全米国内選手権の 7 日目は終了しました。多くのパイロットが敢闘しましたが、ついには コンペティションナンバー 7N がゴール 1 マイル手前で降りると連絡してきました。おそらく疲労か、脱水症状が原因だったのででしょう。その **PIK-20** は翼端接地して転回し、パイロットは負傷していました。医師団が比較的単純と思われた患者の手当てを開始して、膀胱が破裂していることを発見するや、良くある事故と思われた状況が、より深刻な結果に姿を変えてしまったのです。

ほとんどの人にとっては、十分な水分を取らなかった事が、逆にもう破裂せんばかりになっている膀胱に溜まった尿を排出することができなかった経験が、数あるフライトの中でも最も印象的で、思い出深い出来事になっています。それに加え、噴出するおしっこ袋、洪水になったコックピット、前縁にへばりついたおしっこ袋などの伝説がありますが、笑い話でなく、尿意を催した際に何をすべきかの情報がグライダーパイロットにとって必要な事は明らかです。この記事では 2 種類の男性用と女性用の

システムを紹介します。それらにより、尿意を催した際に対処できるようにすることで、脱水症、不快な思い、さらには通常のクラッシュの際に膀胱破裂を引き起こす危険を少なくすることができます。

多分、この進歩の世の中で、あるいは単により高い効率の追求のせいなのか、時代が経るに従い、男性用の排尿システムは単に我慢することから、おしっこ袋放出システムに、そして様々な機外排出の仕組みへと進化してきました。使いやすく、漏れやこぼれを生じることが少なく、フライト中邪魔にもならず、車輪やラダー部品の腐食によるダメージを生じないように車輪カバーに配管された男性用外装尿道管（カテーテル）は、男性にとっての最良のシステムだと思われます。

推奨される配管は、内径 1/4 インチのポリエチレンチューブです。これは硬い、やや剛性のあるチューブですが、コックピットからシートパンの下を通り、バルクヘッドを通過して車輪カバーの後ろのコーナーまで配管することができます。車輪を出したときの振じれは許容するものの、シートパンの下で潰されても壊れることはありません。ホームセンターで購入することができます。

この配管をシートパンの下の胴体下部に抜くことは、多少はシンプルにはなりますが、腐食性の尿は胴体下部を濡らし、車輪の金属部やラダーヒンジに付着することになります。時間をかけて車輪カバーまで配管を通せば、使用時に車輪を出すことにより、飛沫が機体にかからないようにできます。この事は染料を入れた水により確認されています。

その他に重要なのは、男性用外装カテーテルと排尿用配管をつなぐのに、T チューブを使用することです。外科用のチューブ（通常はクランプされて閉じておく）をここにつなぐと、パイロットが使用後に息を吹き込んで配管内の尿を吹き飛ばすことによって、凍結やトレーラーの（床の）汚れを防ぐことができます。

カテーテル（尿道管）は医療用品店あるいはどこの薬局でも、取り寄せれば入手できます。商品名 **Mentor Freedom Cath** は約 2\$ で売られており、3 種類のサイズがあります。この器具はコンドームに良く似ており、機体の配管に繋がられる柔軟チューブが付いています。接着剤を使うことで、配管内を清掃するために息を吹き込む際の圧力でも、漏れを防止できます。しかしながら、接続をはずす際、尿の漏れを受け止めるように、小さなタオルを当てることを推奨します。

もちろん、女性の場合、別の問題に直面します。しかし、女性用尿漏れパッドの使用経験は非常に満足すべきもので、飛行前に水を取らないようにすることや、飛行を切り上げたり、パンパンになった膀胱で飛ぶことの不快や障害の代替としては、間違いなく優れたものである事を示しています。機体を改造する必要がないことも良いニュースです。

問題を解決する魔法の仕掛けの製造元のひとつが **ジョンソン・アンド・ジョンソン** で、女性用の超吸収性尿漏れパッドを発売しています。この秘密は縦溝のついた綿の裏地に含まれる化学的ゲルシステムで、水分を注がれるそばから、吸収して保持することができます。殆んど垂直に保持されていて水が流れ出すような状態でも、流出は起こりません。使用する反対の面は防水性があり、取り扱いは容易です。

実際には、少なくとも最初に使う人にとって、多少とも飛行への集中の妨げとなるので、排尿を試すのには、込み合ったサーマルは適当な場所とは言えません。ハーネスを緩める事が必要であり、衣類も装着できるようになっていなければなりません。地上で試してみて、使用後のパッドを入れる容器を準備しておいてください。パッドは使用時には荷重や衣服により潰されないようにすることが最も重要です。潰されると急速な吸収が妨げられます。

パッドが膀胱一杯の量を吸収できるとは言え、経験により最適な量がわかるまでは、

より少ない量で何回も試して見るのが賢明です。

ソアリングの最中に尿意に悩まされたり、また排尿を諦めているようであれば、良い解決法があります。すなわち、もはや不便さを我慢してはいけません。不便なこと以上に悪い状況になる恐れがあるのですから。



この翻訳をもしも他に引用される場合は、出典を明らかにしていただくよう、お願いいたします

2003/05/14 翻訳：室井 國昌